

進路指導だより

「企業現場における作業学習」の取り組みについて

県内の特別支援学校では、生徒の一般就労を推進するためにさまざまな取り組みを行っています。その一環として「企業現場における作業学習」があり「就業体験」とは別に企業や就労継続支援A型事業所で働く体験を行い、就労に必要なスキルや意識の向上を目指しています。



今年度は、高等部の産業工芸科3名、被服科3名の生徒が職業科の授業の時間に4つの事業所で「企業現場における作業学習」を行います（※1カ所は2学期後半を予定）。生徒たちにとっても貴重な体験となりました。

○ 杉町鉄工所

NC旋盤を操作し、金属部品（自動車用のボルト）を加工する仕事をしました。決められた手順を守り、同じ作業を繰り返し続けることの大変さを実感しました。



○ ボルガはたらいて笑おう

全国発送するパンの袋入れ、商品シール貼り、箱詰めなどを体験しました。パンがつぶれないようにやさしく扱い、徐々に手早くできるようになりました。



○ WAN

就労継続支援A型・B型がある多機能型事業所です。B型では自動車部品の個数チェックや除草作業、A型では病院で使われた衣類などの洗濯業務を体験しました。A型・B型の違いを学ぶ良い機会となりました。

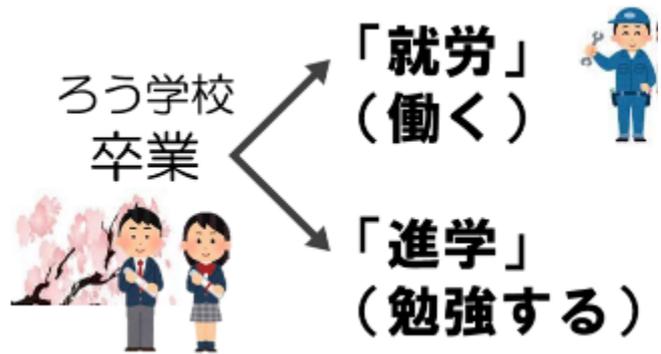


進路のおはなし～就労について（一般就労と福祉的就労）

以前にも「進路のおはなし」コーナーで、卒業後の主な進路として「就労」と「進学」があることを説明しました。

「就労」とは企業や福祉事業所、施設などで働くことを言います。

そして、「就労」も働く事業所や形態によって、「一般就労」と「福祉的就労」の2つがあります。「福祉的就労」はさらに3つに分けることができます。次回から、それぞれの就労の特徴や違いについてお話をしていきます。



「就労」は「一般就労」と「福祉的就労」がある

